

# 海況速報（クロロフィル a 分布）

平成 30 年 12 月 26 日

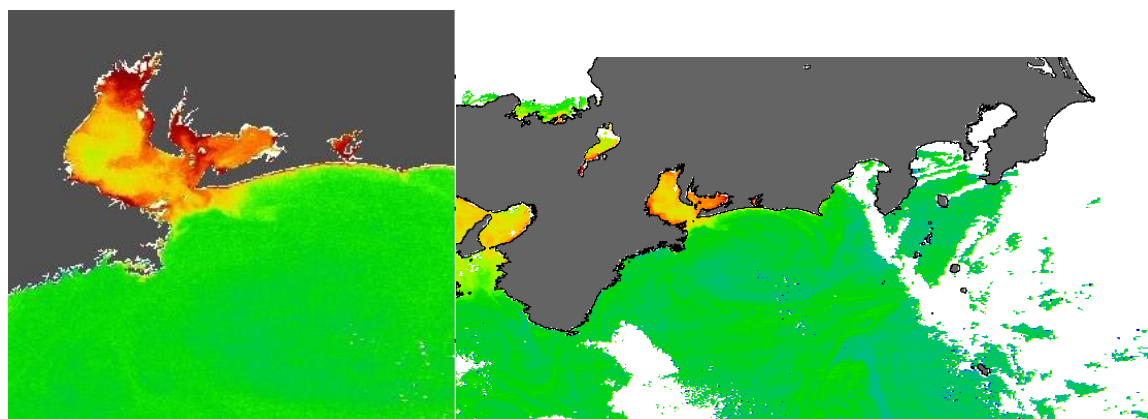
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

12 月 25 日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、1 週間前（12 月 13 日）と比べて、伊勢湾湾奥に濃度の高い範囲が広がっています。これは 22 日に降雨があり、栄養塩が補給されたためと考えられます。渥美外海は小規模の暖水渦が形成されており、やや濃度が低くなっています。

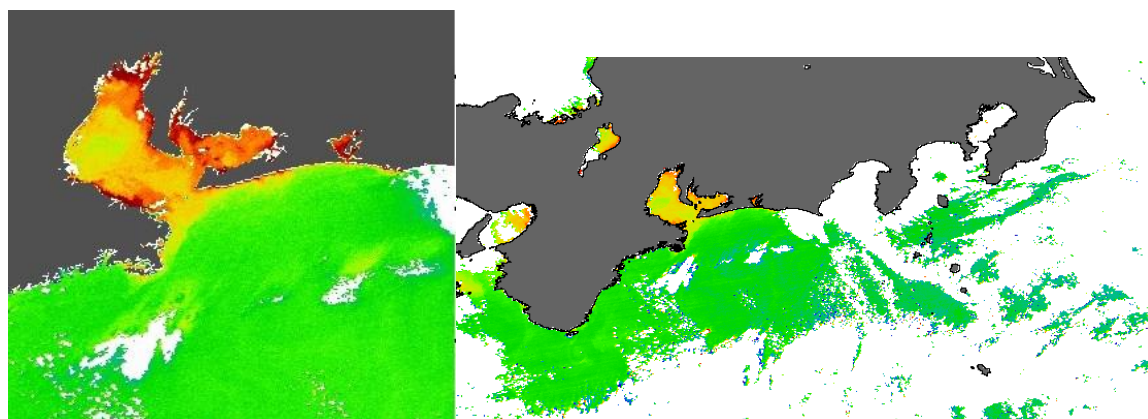
クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、2018 年前半は昨年と同じように推移していましたが、夏になると台風や降雨の影響で一時的に増加しました。10 月に入ってから、全海域において昨年並みか昨年より高めで推移しています。

(宇宙航空研究開発機構 (JAXA) / 東海大学 (TSIC/TRIC) 提供の MODIS 画像)

## AQUA によるクロロフィル a 濃度分布 (12 月 25 日)



## AQUA によるクロロフィル a 濃度分布 (12 月 13 日)



※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

# 海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。

(12月25日までのデータ)

